



## せかいいさん とうろく しゅうねん 世界遺産登録20周年

平成16年7月に「紀伊山地の霊場と参詣道」が世界遺産に登録されて以降、世界遺産地域へ国内外から多くの観光客が訪れています。令和3年には、世界遺産の活用と保全のサイクルを確立した本県の取組が評価され、世界的に著名な旅行メディアであるロンリープラネットのランキング「Best in Travel 2021・サスティナビリティ読者投票部門」で本県が世界で唯一選出されました。

令和6年に登録20周年を迎えるにあたり、世界遺産のブランドに加え、「環境にやさしい持続可能な観光地」として国内外にPRするための大型キャンペーンを展開し、令和7年に開催される「2025年大阪・関西万博」との相乗効果を図ります。

### 参詣ウォークの推進

- **令和の熊野詣(熊野古道ウォーク)**  
熊野詣の創立式の開催及び熊野古道のウォークツアーの旅行商品造成を図ります。
- **ロングトレイルの推進**  
熊野古道の宿泊を伴う歩き方のモデルプランを作成し、長期滞在型の熊野古道ウォークを推進します。
- **レール&ウォークの推進**  
紀伊半島に延びる鉄道路線を活用したレール&ウォークをはじめ、県内全域で観光地の魅力を感じてもらえるような周遊モデルコースを紹介していきます。



### 世界遺産登録20周年に向けた機運醸成

世界遺産の地でのコンサート開催や、首都圏でのシンポジウムの開催などにより、広く全国に向けて機運醸成を図ります。

### 交通アクセスの利便性向上

関西観光本部や東京観光財団と連携し、京阪神地域や首都圏から世界遺産地域へ至る広域観光周遊ルートの共同プロモーションに取り組みます。

交通アクセスの利便性向上を図るとともに、関西国際空港や京都から高野山、高野山から熊野地域を周遊するアクセスバス、羽田空港〜南紀白浜空港便の利用促進に取り組みます。



# ねん 2025年 おおさか かんさいばんぱく 大阪・関西万博

ばんぱくすいしんか  
問 万博推進課 ☎073-441-2703 FAX073-432-4410

令和7年4月13日から10月13日にかけて開催される「2025年大阪・関西万博」への国内外からの来訪者をターゲットに、多様な価値観を尊重し合う「持続可能な世界」を表現する日本のモデルとして、本県が育んできた精神文化を発信するとともに、本県の魅力をPRします。

また、本県への広域周遊を促すため、①デジタル化、②インバウンド受入体制、③観光コンテンツ、④プロモーション活動、⑤アクセス環境の5つの観点から、受入体制の整備や周遊促進に取り組みます。

### 大阪・関西万博に向けた取組

- **最先端技術の実証・導入**  
万博を契機とした県内への誘客促進等の実現に向け、「空飛ぶクルマ」の実用化を推進
- **デジタル技術を利用した新サービスの推進**  
Maasなどのサービス(移動サービスの効率化・キャッシュレス・チケットレス)を推進
- **デジタル時代に適応したVR・メタバースなどのコンテンツ開発**
- **万博を契機とした国際交流**  
青少年交流等を通してグローバルな感性を育む



### 空飛ぶクルマって何?

垂直に離着陸し、ヘリコプターやドローン、小型飛行機の特徴を併せ持つ電動の機体。滑走路が不要で騒音が少ないのが特徴。また、温暖化ガスを出さず、運航等にかかるコストも安価となっている。万博会場と会場外ポートをつなぐ運航が期待されている。

大阪599 20-25  
特別仕様ナンバープレート  
万博開催を記念した特別仕様ナンバープレートを、期間限定で希望者へ交付。  
※地域名は自動車使用の本拠の位置を示すものになります。

詳しくはこちら

メールマガジン「わかやま万博通信」  
メルマガ登録はこちら



### 和歌山館(仮称)を設置!

関西パビリオン内に、本県の展示ブースを設け、和歌山に根付く精神文化から育まれた自然・人・産業・食・文化などの多様な魅力を表現します。

- **紀伊山地の巨木を彷彿とさせる映像タワーを設置し、神聖な空間を演出**
- **ステージでは「和歌山の今を生きる人」に焦点を当て、多様なパフォーマンスを実施**
- **飲食可能エリアを設け、和歌山の食の魅力を紹介**

令和4年4月に県と県商工会議所連合会、県商工会連合会を中心に、産学官金の団体により構成される「2025年国際博覧会 和歌山推進協議会」を設置。シンポジウム開催などにより、県内の機運を醸成するとともに、メールマガジンを通じて最新の万博関連情報を発信します。



提供:2025年日本国際博覧会協会